



2019年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年8月8日

上場会社名 日本ハウズイング株式会社
 コード番号 4781 URL <https://www.housing.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小佐野 台
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経営企画部長 (氏名) 奥田 実
 四半期報告書提出予定日 2018年8月8日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5379-4141

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	22,293	2.1	316	49.2	301	51.3	117	55.5
2018年3月期第1四半期	22,761	5.1	623	20.2	619	18.6	263	34.9

(注) 包括利益 2019年3月期第1四半期 97百万円 (143.1%) 2018年3月期第1四半期 226百万円 (25.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	7.28	
2018年3月期第1四半期	16.36	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第1四半期	47,673	28,142	57.2	1,695.88
2018年3月期	52,492	28,918	53.1	1,733.59

(参考) 自己資本 2019年3月期第1四半期 27,266百万円 2018年3月期 27,872百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		32.00		34.00	66.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)		34.00		34.00	68.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	49,400	2.9	1,350	18.9	1,320	18.5	650	25.1	40.43
通期	112,600	6.7	5,470	0.1	5,400	0.1	3,350	1.7	208.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期1Q	16,080,000 株	2018年3月期	16,080,000 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2019年3月期1Q	1,779 株	2018年3月期	1,779 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期1Q	16,078,221 株	2018年3月期1Q	16,078,221 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	当第1四半期	前年同四半期	前期比
売上高	22,293	22,761	△2.1%
営業利益	316	623	△49.2%
経常利益	301	619	△51.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	117	263	△55.5%

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益及び雇用情勢の着実な改善を受け、個人消費の持ち直しや、設備投資の増加がみられるなど、景気については緩やかな回復基調が続きました。海外経済においても、米国の景気回復が続いている他、中国を中心としたアジア新興国の景気も持ち直しの動きが見られました。ただし先行きについては、通商問題の動向や金融資本市場の変動が経済に与える影響に留意が必要な状況です。

このような状況のもと、当社企業グループは、主力であるマンション管理事業が好調に推移したものの、営繕工事業の業績が前年同期と比較し低調に推移したことなどが売上高及び利益面に影響いたしました。

その結果、売上高は22,293百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は316百万円（前年同期比49.2%減）、経常利益は301百万円（前年同期比51.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は117百万円（前年同期比55.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	当第1四半期	前年同四半期	前期比	当第1四半期	前年同四半期	前期比
マンション管理事業	12,312	11,678	5.4%	890	750	18.6%
ビル管理事業	2,790	2,828	△1.3%	138	198	△30.4%
不動産管理事業	1,327	1,355	△2.1%	129	159	△19.0%
営繕工事業	5,863	6,899	△15.0%	△102	159	△164.2%
消去又は全社	—	—	—	△738	△644	—
合計	22,293	22,761	△2.1%	316	623	△49.2%

① マンション管理事業

マンション管理事業につきましては、国内においては、前連結会計年度に受託した物件が計画通りに稼働したことや管理委託料の値上げの効果が生じたこと、海外においては、台湾における子会社の東京都保全股份有限公司が堅調に推移したことが売上高及び利益面に寄与いたしました。

その結果、売上高は12,312百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は890百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

② ビル管理事業

ビル管理事業につきましては、当社においては新規受託が好調に推移しましたが、一方で、前年同期に子会社において売買仲介収入が一時的に売上高及び利益面を押し上げたその反動により、当第1四半期の収益は前年同期を下回りました。

その結果、売上高は2,790百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は138百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

③ 不動産管理事業

不動産管理事業につきましては、当社におけるリフォーム工事が減少したことや、人件費の増加が売上高及び利益面に影響いたしました。

その結果、売上高は1,327百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益は129百万円（前年同期比19.0%減）となりました。

④ 営繕工事業

営繕工事業につきましては、国内においては、当社における大規模修繕工事の計画が下半期に集中していること、海外子会社の業績が前年同期と比較し低調に推移したことなどが売上高及び利益面に影響いたしました。

その結果、売上高は5,863百万円（前年同期比15.0%減）、営業利益は△102百万円（前年同期は159百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(単位：百万円)

	当第1四半期末	2018年3月期	増減
資 産	47,673	52,492	△4,818
負 債	19,531	23,573	△4,042
純 資 産	28,142	28,918	△776
うち 自 己 資 本	27,266	27,872	△606
期 末 有 利 子 負 債	4,542	4,867	△324
自 己 資 本 比 率 (%)	57.2	53.1	4.1

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4,818百万円減少し、47,673百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の減少1,863百万円、受取手形及び売掛金の減少4,179百万円、未成工事支出金の増加1,282百万円等であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4,042百万円減少し、19,531百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3,305百万円、未払法人税等の減少922百万円等であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ776百万円減少し、28,142百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加117百万円、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少546百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月9日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,891	15,027
受取手形及び売掛金	13,736	9,556
未成工事支出金	2,768	4,051
原材料及び貯蔵品	198	202
その他	885	1,178
貸倒引当金	△81	△79
流動資産合計	34,398	29,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,007	3,884
機械装置及び運搬具(純額)	111	103
工具、器具及び備品(純額)	476	469
土地	7,162	7,057
建設仮勘定	7	51
有形固定資産合計	11,764	11,567
無形固定資産		
のれん	1,903	1,770
その他	1,036	994
無形固定資産合計	2,940	2,764
投資その他の資産		
投資有価証券	259	262
差入保証金	1,052	1,042
繰延税金資産	895	926
その他	1,311	1,303
貸倒引当金	△129	△129
投資その他の資産合計	3,388	3,404
固定資産合計	18,094	17,736
資産合計	52,492	47,673

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,071	3,765
短期借入金	2,965	2,790
1年内返済予定の長期借入金	425	421
未払法人税等	1,418	495
未払費用	2,690	2,579
賞与引当金	1,591	945
工事損失引当金	15	14
その他	4,545	5,919
流動負債合計	20,723	16,932
固定負債		
長期借入金	1,475	1,330
退職給付に係る負債	467	470
繰延税金負債	72	22
その他	835	775
固定負債合計	2,850	2,599
負債合計	23,573	19,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,492	2,492
資本剰余金	2,305	2,305
利益剰余金	22,904	22,474
自己株式	△1	△1
株主資本合計	27,700	27,271
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	59	59
為替換算調整勘定	73	△100
退職給付に係る調整累計額	39	36
その他の包括利益累計額合計	171	△4
非支配株主持分	1,045	875
純資産合計	28,918	28,142
負債純資産合計	52,492	47,673

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	22,761	22,293
売上原価	17,230	16,851
売上総利益	5,530	5,441
販売費及び一般管理費	4,907	5,125
営業利益	623	316
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	2	2
その他	33	23
営業外収益合計	40	31
営業外費用		
支払利息	20	25
その他	23	20
営業外費用合計	44	46
経常利益	619	301
特別利益		
国庫補助金	20	—
固定資産売却益	—	88
特別利益合計	20	88
特別損失		
固定資産圧縮損	17	—
特別損失合計	17	—
税金等調整前四半期純利益	621	389
法人税等	332	284
四半期純利益	288	105
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	25	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	263	117

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益	288	105
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
為替換算調整勘定	△68	△200
退職給付に係る調整額	6	△2
その他の包括利益合計	△62	△202
四半期包括利益	226	△97
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	218	△59
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び国内連結子会社の税金費用については、原則として、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	11,678	2,828	1,355	6,899	22,761	—	22,761
セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	2	66	1	90	△90	—
計	11,699	2,831	1,421	6,900	22,852	△90	22,761
セグメント利益	750	198	159	159	1,268	△644	623

(注) 1. セグメント利益の調整額△644百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	マンション 管理事業	ビル 管理事業	不動産 管理事業	営繕工事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,312	2,790	1,327	5,863	22,293	—	22,293
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19	4	66	0	91	△91	—
計	12,332	2,794	1,394	5,863	22,385	△91	22,293
セグメント利益 又は損失(△)	890	138	129	△102	1,055	△738	316

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△738百万円は、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△739百万円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。